

## 3月定例会

平成23年度予算可決

2面

一般質問 6人の議員が問う

7面

議会全員協議会 協議内容

11面

特別委員会報告

14面

はい せんせい

《泊小学校・新一年生》

# 万円

## 3月定例会 3月10日～3月17日

今議会に提案された平成23年度一般会計、特別会計、企業会計など合わせて19会計については、予算特別委員会を設置し、集中審議を行い、全て原案どおり可決しました。

また、第2次湯梨浜町総合計画、条例の一部改正、補正予算などは、原案のとおり可決しました。

その中で、平成23年度国民健康保険事業特別会計予算総額は、17億9,157万8千円で、前年度に比べ、4,437万円の増額予算の提案がありました。

この主な要因は、医療費の急激な伸びにより、保険給付費の増額を見込んだものです。

平成22年度に医療費の増額に対応するため、基金を取り崩し、不足分の5,100万円を一般会計繰入金により補うものであり、特に予算特別委員会では、雇用促進住宅購入事業とともに議論が白熱しました。

### 新年度の主な事業

総務費  
**11億4,799万円**

東郷湖活性化推進事業

57万円



官民一体となって、東郷池を通じたまちづくりを検討

#### ○園庭芝生化促進事業

田後保育所、わかば保育所園庭の一部を芝生化

#### ○町福祉事務所関係 生活保護事務費など

#### ○子宮頸がん予防ワクチン接種事業

#### ○肺炎球菌予防接種事業

#### ○就農応援交付金事業、就農条件整備事業

Iターンによる新規就農者の初期運転資金、機械・施設等の整備に対する助成

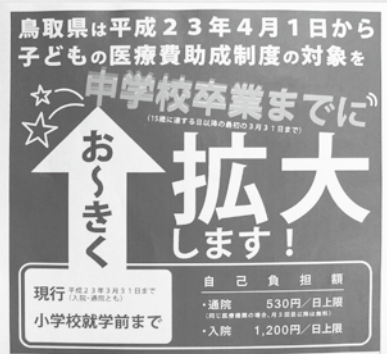
#### ○雇用促進住宅購入事業

雇用・能力開発機構から雇用促進住宅を譲り受け、定住促進と町の活性化を図る

### 民生費

**24億9,167万円**

特別医療給付費 8,600万円



小児の医療費助成対象者を、未就学児童までから中学校卒業までに拡大

田後保育所調理室等増築 6,154万円



自所調理方式を行うため、調理室等の増築

# ふくらむ国保会計・値上げやむなし

# 平成23年度 一般会計予算

# 86億9,000万円

前年度比 4億5千万円(5.5%)の増

## 土木費 8億9,330万円

松崎田畑橋線橋梁上部工 約1億円



## 衛生費 6億9,721万円

ごみ減量リサイクル創出事業 151万円



移動式生ゴミ処理機（エコトラック）  
生ゴミ液肥の利用促進

## 教育費 7億1,362万円

図書館司書職員雇用事業 422万円



新たに図書館司書職員を雇用し、学校図書室の支援、図書教育の充実を図る

## 農林水産業費 4億2,844万円

多様な集落営農支援事業 779万円



経営の多角化、機械設備等の整備助成

## 公債費 17億3,562万円

### ■ その他の内訳 ■

|     |           |
|-----|-----------|
| 議会費 | 1億2,955万円 |
| 商工費 | 1億4,914万円 |
| 消防費 | 2億7,559万円 |
| 予備費 | 2,786万円   |

※一般会計…町の行政運営の基本的な経費を中心に計上した会計のこと。  
※公債費…町がこれまで借り入れた借金を返済するお金のこと。

平成24年春開園を目指す

### 幼保一体化施設



(基本設計時イメージ)

# きびしい目でチェック

## 平成23年度予算特別委員会

平成23年度予算は、予算特別委員会を設置し、3月15日、一般会計をはじめ19会計予算について審議しました。審議内容の一部は、次のとおりです。

### 雇用促進住宅購入へ

**Q** 雇用促進住宅購入事業で雇用能力開発機構からなぜ町が譲り受けるのか。また、入居者の方の気持ちを把握しているか。

**A** 他町の状況を見ると町営住宅になると家賃が安くなる。定住促進を図る中で、移住の受け皿として期待できる。

入居者へアンケートを行い、直接話し合う機会を設けている。

**Q** 町営住宅全体の管理運営ビジョンを示すことが必要では。

**A** 町営住宅の将来の全体配置など住宅政策の全体像を示していきたい。

**Q** 私立保育所への施設整備補助は、町立と比較した場合の違い。また、環境整備について私立と町立の違いはどうか。

私立保育所は、国県の補助事業できちんとした補助金が入る。私立保育所への環境整備は、実態を伺いながら検討したい。

**Q** 国保税の値上を前提とした予算案だが、所得割の課税標準額は、どうなるのか。どのように課税されるのか。

**A** 現在、所得が確定していない。早くて4月末、それを受けて検討する。  
昨年、医療費の増加があった。大幅なアップにならないよう一般



あやめ池スポーツセンター

**A** 私立保育所は、国県の補助事業できちんとした補助金が入る。

私立保育所への環境整備は、実態を伺いながら検討したい。

会計からの法定外繰入（5千100万円）を決断した。

**Q** 震災に強いまちづくり促進事業補助金で、町全体の住宅耐震改修の将来を見越したビジョンは。耐震化率は把握しているのか。

**A** 耐震補強対象建物は町全体で約60%。啓発しながら耐震化率の向上に努力したい。

**Q** あやめ池スポーツセンター負担金は、約30年を経過する中、負担金免除を県に要望すべきでは。

**A** 負担金をなくすことができないのなら、その分を減免して頂けないかと要望書を出している。

きでは。

**A** 負担金をなくすことができないのなら、その分を減免して頂けないかと要望書を出している。

**Q** 昨年までの空き家情報提供など定住促進対策事業の状況と対応は。

**A** 中部町土地開発公社も含めて問い合わせが3件。町ホームページで1件あった。

空き家情報登録件数を増やすPR活動をなお一層進めて行きたい。

**Q** 役場東郷支所2階の地域活動応援室が5区画のうち1室しか利用されていないが、今後の見込みは。

**A** 広報等で募集している。町内外からの団体が下見に来られた。

町内の農産物販売の活動拠点としても考えている。

## どうする漂着ゴミ

**Q** 漂着廃棄物処理事業の県から委託の内容は。

収集についても県に積極的に要望すべきでは。

**A** 町が管理する羽合漁港と県が管理する泊漁港に漂着したものを処理するもの。  
地形的に収集が困難な場所の漂着物については、中部総合事務所働きかけたい。



収集が困難 漂着したゴミ

**Q** 各種がん検診事業で、平成23年度事業内容に多少変更を加えながらとあるが、どういうことか。

**A** 中部地区は、消化器系のがんが多いので大腸がん検診に力を入れる。胃がん検診は、胃カメラを重視する。  
実施方法で受診率に影響がないように保健事業団と協議しながらやっていきたい。

**Q** 鳥獣被害総合対策事業で本年度の目標は。イノシシなど捕獲班の編成概要と減少対策は。

**Q** 食生活推進事業と体育指導員の事業とを合体し食育とスポーツの事業にならないか。  
**A** 食育とスポーツの組み合わせで講演を模索している。  
関係課とタイアップして積極的に取り組むたい。



スポーツの中に食育を

**Q** 国・県の新規事業で子ども用補聴器の補助金が新年度予算に計上されてないが。  
**A** 実態を確認して、4月から対応できるようにしたい。  
**Q** イノシシ150頭を目標としている。  
捕獲班は、各地域の猟友会を通して編成する。  
多くの方が免許取得するための補助等の広報をする。

## 平成23年度予算特別委員会報告

平成23年度湯梨浜町の19会計の当初予算については、第2次湯梨浜町総合計画の初年度に当たる極めて重要な年度である。

審査にあたって、次の視点で審査を行った。  
●町長の施政方針に掲げられた6つの柱を基に的確な行政サービスの提供が、町民の満足度を目指すものとして充分に予算に反映されているか。

●各種事業の内容が真に町民が求めている方向で効果が発揮されるものになっているのか。  
会計ごとに委員一同慎重審査の結果、付託された19会計について原案のとおり可決することが適当であると決した。

今後、現状の厳しい財政状況並びに今後の方針を正確に町民に示し、情報共有を図り、ともに共通認識のもとに今後のまちづくりに邁進していただきたい。

また、予算執行にあたっては、大型事業を初めとするあらゆる事業を様々な角度から絶えず精査され、公平・公正、かつ町民の安心・安全な暮らしのため取り組んでいただくとともに、全職員の専門的知識を結集し、限られた貴重な財産を有効活用して、「げんき・いきいき・かがやきのまち」湯梨浜町を生み出す施策に取り組んでいただくことを委員会の意向として強く求める。

平成23年度予算のほか、3月定例会に提出された議案は次のとおりです。

## 補正予算

### ☆一般会計

歳入歳出それぞれ71億5千万円を減額し、予算総額を98億9782万7千円とするもの。

主な内容は、幼保一体化施設建設事業、予防接種事業、中核的担い手農家育成補助金の増額。繰越明許費の追加及び変更補正。工事等の請差などによる減額、各種負担金の確定に伴う増減補正。

### ☆国民健康保険事業特別会計

歳入歳出それぞれ18億10万7千円を増額し、予算総額を18億6550万2千円とするもの。

主な内容は、国保連合会負担金、保険給付費と

高額医療に係る共同事業拠出金の増額補正。

その他、老人保健特別会計など、合計15会計補正予算が提案され、原案どおり可決された。

## 条例関係

### ☆課設置条例の一部改正

4月開設の福祉事務所設置に伴い、8課を9課とするもの。

「健康福祉課」を「健康推進課」に、「地域包括支援センター」を「長寿福祉課」に改め、「総合福祉課」を新設。

### ☆印鑑登録及び証明に関する条例等の一部改正

障がい者施策の推進の一環として、漢字の「障害」表記をひらがなの「障がい」の表記に関係

条例を一括改正。

### ☆町長等の給与の特例に関する条例の一部改正

現在、実施している町長、副町長及び教育長の給与の減額期間をさらに1年間延長する改正。

### ☆職員の給与の特例に関する条例の一部改正

子育て・教育施設整備の財源として積み立てるため、職員給与の削減を引き続き実施するもの。

### ☆放課後児童クラブ室及び放課後児童クラブの設置に関する条例の一部改正

花見保育所併設の「東

郷第2放課後児童クラブ」が手狭なため、4月から花見コミュニティ施設の一部を活用しようとするもの。

その他、光ファイバーネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部改正など、合計12条例の制定・改廃が提案され、原案どおり可決された。

## 第2次湯梨浜町総合計画基本構想を可決

本計画は、「第1次湯梨浜町総合計画」の「げんき・いきいき・かがやきのまち」の基本目標を継承したもの。

本町が目指す将来像、まちづくりの目標など、総合的かつ計画的な行政運営を定めたもの。

基本構想は平成23年度～平成32年度（10年間）

## 人事案件

人権擁護委員1名の方の任期が満了することに伴い、提案された人事案件についての推薦に同意。（敬称略）

### ☆人権擁護委員

小泉 信子（泊）  
（任期 平成23年7月1日～平成26年6月30日）



移転した東郷第2放課後児童クラブ

6人の  
議員が問う

一般質問

ここが  
聞きたい!

平成23年3月定例会の一般質問は、第5日目の  
3月14日（月）に行われた。

質問議員6人が登壇し、町政全般について熱心  
に議論を展開した。



3月定例会本会議（議場風景）

## 『Q』どうする『買い物弱者』対策は

### 『A』民間サービスの拡充



上野昭二 議員

昨年9月定例会でも質問したが『過疎化と限界集落化の問題』また、『お年寄りの日常買物や通院問題』など社会問題への対応が急がれる。  
多くの地域では限界集落化により地域力が低下し、もはや個別地域では自身を守るのが精一杯で、他人を支えきれない状況が多くあり、そこで伺う。  
①町内の『買い物弱者』への問題認識は。  
②多くの『買い物弱者』に対して、『湯梨浜町だからこそ安心して生活できる』という、町

づくりの実践を早急に望みたい。

#### 答弁（町長）

①核家族や高齢社会の進展といった流れの中で、車が運転できない方にとっては、買い物などに連れて行ってくれる家族もなく、また、地域の中で世話をしてくれる人も少なくなり、不便を感じておられる方たちがいらっ

やることは認識している。

②交通弱者対策として湯梨浜町社会福祉協議会が月に2回（第2、第4金曜日）乗合いバスを運行している。

また、NPO法人による福祉有償運送のサービスも提供されている。

こうした民間事業者によるサービスの拡充と併せ、町では心身障がい者の交通費助成制度、高齢者のためのバス定期購入助成制度やガイドヘルパーによる外出支援などを実施している。



生活に欠かせない移動販売車

## Q 地域活性化を目指す

### 町の取り組みは

#### A 積極的に取り組んでいく

が所見を伺う。

#### 答弁（町長）

住民との協働による地域づくりは、元気なまちづくりに欠かせないものだと思っている。

地域の活性化を図るために、本町では、「まちづくり創造事業」「いき

いきボランティア団体助成事業」などの施策を設けている。

これらの事業を活用し、住民の発意で、環境、文化、健康、芸術などの多様な分野で多くの活動が展開され、町の活性化、魅力づくりに貢献している。

今後とも住民の皆さんからの意見を伺い、住民の主體的な取り組みに手を携え積極的に取り組んでいく。



会見祐子 議員

まちづくり創造事業で湯梨浜町の顔としてイベントなどで、地域活性化を目指している団体に対し、継続して官民一体で応援すべきである。

「町民ミュージカル」「中華コスプレ」「わいわいカンパニー」など、我が町の誇りとして支援すべきである。湯梨浜町のシンボルとなり元気な地域づくりが出来るのではないか。

このような補助事業で、次代を担う中学生の子供議会や男女共同社会川柳公募など、住民の生の声が生かされると思う



町民ミュージカル「もうひとつの青い鳥」

## Q 東郷池の利活用は

#### A 積極的に活用



東郷池を考える集い



浦木 靖 議員

東郷池の環境については、メダカの会が長年積極的に取り組まれ高く評

価されている。

池の水質浄化については対流の必要性があるが、どうなのか。

総合計画では漁業者の育成をうたっているが、シジミ漁を希望される方も多いと聞く、そのような人を漁業者として育成

してはどうなのか。

また、一般住民の方がもう少し池を利用できるようにすべきだと考えるが、町長の考えを伺いたい。

#### 答弁（町長）

東郷池の水質については、鳥取県が策定している「東郷池水質管理計画」の最終目標値には、まだまだ達していない。

県で現在実施中の覆砂事業、エコファーマー施肥体系の推進、水草の刈り取り除去などの効果を期待しているが、これ以上悪化しないよう努めるという意識も必要であると思う。

利活用については、春・夏の一斉清掃はもとより、水草肥料化やアダプトプログラムなどの環境活動には多くの町民の方が参加され、夏祭りやイベントなどでも積極的に利用され、有効活用が図られていると思う。

## Q住宅リフォーム助成制度を

### A補助制度は考えていない



増井久美 議員

住宅リフォーム助成制度が近隣の町村においてつくられ大きな効果を出している。

琴浦町では2009年7月から助成事業を開始し10万円以上の修繕、補修、増築工事に対して工事経費の10%（上限10万円）を助成している。

2010年4月からは新築も対象となり併せてトタン張替え、ペンキ塗り、サッシの交換、電気工事、壁紙の張替えなども対象となり、申請数371件、総事業費約6億1400万円で経済波及効果は約24億円であ

る。ぜひ当町でもつくってほしい。

#### 答弁（町長）

昨年12月定例会の際、住宅リフォーム補助制度は考えていないと答弁したが、今もその考えは変わっていない。

基本的に個人資産への



効果が期待（ゆりはま商品券）

補助は、いかなるものかと考える。住宅リフォーム補助制度では、一部の建築業者の範囲での経済効果となり疑問がある。

町全体の経済効果をねらいとするならば、プレミアム商品券の方が、効果が大きいと考える。

また、限られた予算の中、交付金の使い道の観点からは、移住定住対策を重視し、雇用促進住宅の取得や、周辺道路を含めた整備を考えて行きたい。

## Q地デジ相談窓口の設置を

### A説明要請があれば対応



地デジ説明会

本年7月24日の地上デジタル放送への完全移行が迫り、町内でも説明会が開かれている。しかし、まだ対応がわからない人も多い。

TCCがデジアナ変換を実施し、平成25年8月までアナログテレビが視聴できることや、総務省

の住民税非課税世帯に対して、チューナーの無償給付などが開始されたことをもっと知らせるべきではないか。

役場内に相談窓口を設置し、町民の相談にのるなどして、地デジ難民をつくらぬ努力をしてほしい。

#### 答弁（町長）

これまでも町広報紙、TCCチラシ、地デジ説明会の開催、地区別の要請に対応した説明会など行ってきた。

今後も説明依頼があれば、企画課へ気軽に申し込んでほしい。

今後のアナログ受信対応のため、国が定めた住民税非課税世帯や生活保護世帯へのチューナー無償給付は、先月末で約48%の申込みがあった。

現在、BS放送を視聴しているが、BSチューナーを利用しない世帯では、契約者が視聴料契約手続きをしなくてはならない。

解約又は継続選択に際しては、NHKと相談したい。

## Qより実効性のある減免基準に

### A国の基準による



石井輝美 議員

「生活困窮者を救済するための税等の減免基準が未整備」との指摘に応え、町長は昨年10月から12月までの間に、保育料などの減免基準を新たに制定、国保の病院窓口負担や、介護保険の利用料の減免基準については、平成22年度中に定める予定としていたが、取り組み状況は。

行政の立ち遅れを挽回しようとする姿勢は評価しているが、さらに他の自治体との比較検討を不断に行い、より実効性のある基準に練りあげていただきたい。

#### 答弁（町長）

平成22年度中に定めるとしていた、国民健康保険の病院窓口一部軽減基準については、被保険者で支払うことが困難であると認められるものに対し、①一部負担金の減額

②支払いの免除③一部負担金の徴収を猶予する措置の規定がある。

平成22年9月厚生労働省の改正があり、この取り扱いについては、減免など要綱を定めて基準を明確化し、本年4月1日から施行するよう取り組む。

また、介護保険料についても同様に施行することとする。



減免申請受付をする職員

## Q同和教育・事業の終結を

### Aあらゆる差別をなくすため継続

半封建的な残り物である部落問題は、同和对策事業の実施、長年の国民の努力と運動で解決にむかい2002年3月、同和の「特別」法体制の失効を契機として終結。一般対策への移行こそが「国民的課題」となる時代に入った。



学習の機会 湯梨浜町人権フォーラム

ところが本町では、毎年6千万円を超える同和関連予算が執行され、第2次総合計画においても継続実施としている。

町民融合に逆行、町民を二分する同和教育や施策をいつまで続ける考えなのか。

#### 答弁（町長）

湯梨浜町は、部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくすため、生活環境の改善、社会福祉の充実など人権擁護の施策を策定し、推進に努めている。

人権侵害、差別事象、不適切発言があり、第2次総合計画でも解決に取り組んでいる。

#### 答弁（教育長）

6千万円の同和関連予算は人権啓発の役割を担っている。

部落問題懇談会など実施しているが、同和教育のみではなく、障がい者差別、北朝鮮の拉致問題、身近な差別問題など、様々な学習がなされている。

## Q TPP 反対の町民集会を

### A 開催は考えてない



竹中 壽健 議員

① TPP（環太平洋経済連携協定）に対する反対集会は全国に広がっている。

米の生産は90%がなくなり、食料自給率も40%から13%に低下、国内総生産でも8・4兆円減少、雇用は350万人減と予測されている。

県では農業生産に対する影響について、316億円の減少と試算されている。

町の経済に対する影響と町長のTPPに対する認識について伺う。

② 町民の暮らしを守るためにTPP反対町民集会を開くべきだと思うが、町長の考えを伺う。

町民の暮らしを守るためにTPP反対町民集会を開くべきだと思うが、町長の考えを伺う。

### 答弁（町長）

① 昨年10月、菅首相が国会で「環太平洋経済連携協定（TPP）交渉への参加を検討し、ア

シア太平洋自由貿易圏の構築を目指す。」と所信表明された。

それ以降、文字通り国論を二分する形で産業分野によって主張が分かれている。

正式な交渉参加国となるためには、例外なく関税撤廃する意思が事前に明らかにする必要があることから、率直に言って当初の表明や閣議決定には、唐突感や拙速感を感じる。② 町民集会などの開催は考えていない。



TPP 反対デモ行進（鳥取県民大会）

## 議会全員協議会

3月10日 開催  
3月17日

3月定例会の初日と最終日に議会全員協議会を開催。

Q 平成23年度国民健康保険事業特別会計予算編成での税率は、

A 平成23年度案は、

9・5%増額で計上している。税率改正は、医療費及び所得が確定した時点で行う。

Q 東日本大震災があり、町としてイベントなどは、臨機応変な対応が必要ではないか。

町民の暮らしを守るためにTPP反対町民集会を開くべきだと思うが、町長の考えを伺う。

## 積極的な被災地支援を

A 実行委員会を開催して協議したい。地域のイベントをどうするか、内容等を勘案して対応したい。

Q 被災地の東北関東の人で、一時避難される希望者がある。町営住宅などの空き部屋で積極的な受入をしてはどうか。

A 町営住宅は、満杯状



被災地への支援 第一陣

態である。民間の空き家状況、雇用促進住宅が受け付けてないか相談したい。

Q 震災があり、西日本でできることは節電である。また、買占めの問題もある。行政から啓発をすべきでは。

A 国、県からの要請があり次第、対応する。

# 常任委員会 審議内容

## 総務産業常任委員会

3月11日

**Q** 震災に強いまちづくり補助金で耐震設計にも補助がでるのか。平成22年度の耐震工事の実績は。

**A** 耐震設計も補助対象である。平成22年度実績は、1件である。

**Q** ふるさと湯梨浜応援基金事業で各町の取組みに温度差がある。今後の取組みは。

**A** 3万円以上寄付された方には、5千円相当の「ゆりはまの四季」を送っている。カタログ商品を取り入れて町の特産品を送ることを検討している。



まちの特産品「湯梨浜の四季」

**Q** さくら工芸品工房の現状は。また、除雪対応は。

**A** 昨年4月のオープン以来入場者数は約1万5千人。入居は、3室。4月から書道家とガラス彫刻家の2名が入居される。除雪は、除雪機等の貸出しなどで対応していく。

**Q** 二十世紀梨ブランド化事業補助金で完熟梨についての減額の詳細は。

**A** 気象災害により3割強の減収。S玉の単価が高かったのです。こちらに移行したと思われる。

**Q** 温泉スタンドは、冬は利用者が多い。増設したほうがいいのでは。

**A** 昨年、一昨年と利用者は、若干落ちている。

現状としては難しい。

## 教育民生常任委員会

3月11日

**Q** 雇用促進住宅の譲り受けで築30年経過し大改修が必要では。

**A** 平成16年に約1億5千万円かけて修繕している。それ以後20年経過後に再検討が必要。

**Q** 国民健康保険一部負担金軽減等要綱で減免を6ヶ月に拡大できないか。

**A** 国からの調整交付金の関係で国の基準どおりとしている。

**Q** 住宅新築資金貸付事業特別会計の収入減の理由は。また、今後の対応は。

**A** 滞納繰越となり、今後は保証人等から徴収することになる。



福祉事務所

**Q** 4月開設の福祉事務所は、地域包括支援センターと介護保険関係の所管の長寿福祉係に分かれるが、うまく連携がとれるのか。

**A** 今までの地域包括支援センターが、長寿福祉課となり問題は無い。

改正の際、国の法律との関係は。また、学校での取り扱い。

**A** 国の法律で変更のないものはそのまま、変えていない。学校でもひらがなで書くように指導していく。

**Q** 漢字の「障害」表記を「障がい」の表記に

# 待ち望まれる 幼保一体化施設

## 第1回(1月)臨時会

第1回臨時議会が1月31日に開催されました。

一般会計補正予算(第6号)ほか1件の補正予算、及び2件の町長提出議案について審議が行われ、原案どおり可決されました。

また、常任委員会に付託された、陳情5件を審査しました。



雪害被害

### ☆一般会計補正予算

主な補正内容は、国の補正予算に伴う図書館司書職員雇用事業等の追加。その他、雪害園芸施設等復旧事業、町道除雪事業、及び子宮頸がん予防・ヒブワクチン接種事業などの増額補正。

### ☆湯梨浜町住民生活に光をそそぐ基金条例の制定

国は、地域活性化支援



工事が進む羽合新配水池

策として新たな交付金を創設。

図書館司書職員雇用事業を計画し、基金を新たに設け平成23年度から2カ年間実施するもの。

### ☆工事請負契約の変更

羽合新配水池築造工事工法の変更に伴うもの。請負契約金額

(2299万5千円)の増額)

変更前

8032万5千円

## 第2回(2月)臨時会

第2回臨時議会が2月25日に開催されました。

一般会計補正予算(第7号)ほか4件の補正予算の町長提出議案について審議が行われ、原案どおり可決されました。

### ☆一般会計補正予算

果樹低温被害緊急対策事業などの農業振興費補助金の新規計上。

北浜中学校屋内運動場改修事業工事請負費の新規計上。

### ☆公債費(起債)を補正(補償金免除繰上償還)

下水道事業特別会計、農業集落排水処理事業特別会計、簡易水道事業特別会計、水道事業会計4会計が対象。

償還している高金利(年6%以上)の長期地方債の元金を繰り上げ償還することによって、利息相当分が免除されるもの。

## 第4回(3月)臨時会

第4回臨時議会が3月30日に開催されました。

国民宿舎事業特別会計補正予算など町長提出議案5議案について審議が行われ、原案どおり可決されました。

### ☆町税条例の一部改正

東日本大震災に対し、

一時避難施設として旅館・ホテルを提供する場合の入湯税課税免除規定を整備するもの。

### ☆工事請負契約の締結

湯梨浜町立北浜中学校屋内運動場耐震補強及び大規模改造工事

請負契約金額

9607万5千円

契約の相手方

有限会社 高野組

幼保一体化施設新築工事

(建築工事)

請負契約金額

3億7359万円

契約の相手方

酒井・チュウブ特定建設工事共同企業体代表

構成員

有限会社 酒井建設

有限会社 酒井建設

幼保一体化施設新築工事

(機械設備)

請負契約金額

7875万円

契約の相手方

早田設備株式会社

## ● 議会改革調査特別委員会報告(要旨) ●



従来どおりの監視型議会から住民と協働する議会の模索

議会基本条例制定に向かう中で、住民に対する議会報告会等についてさらに議論していく必要があります。

**議会基本条例等、その他議会の改革に必要な事案**

自治体の最高規範である自治基本条例の制定動向を踏まえながら条例化に向かうべきであります。

条例化の前にはまず、議会運営における次の改善・改革を定期的に検証し、改善できることは速やかに変えることを強く望むところがあります。

- ① 月1回の執行部と議会との会議の設置（月例報告会）
- ② 意見・要望等に関する情報の共有化

③ 執行部が設置する審議会・検討委員会等の情報提供

④ 常任委員会の活性化

⑤ 議案の討論

⑥ 執行部の政策、施策、事業実施に至る説明の明確化

その中で、現在の審議にあたって議員間の討議を十分に行う機会を設け、提案等が出せる議会のあり方への改善が求められる。さらに、予算特別委員会等で充分に審議できるよう会期日程等について早急に見直すことから着手すべきである。



議会改革基本問題調査特別委員会での審議

## ● 行財政問題調査特別委員会報告(要旨) ●



本特別委員会は、平成21年10月23日に設置され、平成22年11月26日に中間報告を行ってきました。以後、懸案となっていた『国からのひも付き補助金の一括交付金化の問題』の動向を注視してきましたが、一向に進展が見られないまま今日に至りました。

中間報告の内容を踏襲し最終報告とします。今後は、将来的に段階的な普通交付税の削減を念頭に置いた財政計画が求められています。

これからも更に増加が見込まれる、国保税や介護保険料など特別会計への繰出し金は、

年々財政を圧迫するものと考えられます。そのために、行政組織のスリム化は避けられず、また、各種補助金の精査見直しによる更なる削減や、事務事業等の広域行政化への移行を進めることを申し送ります。

それによって、町の将来を担っていく第三世代へ、現世代が負の遺産を残さず、普遍的な健全財政となるよう鋭意努力することを切望します。



行財政問題調査特別委員会での審議

# 陳 情 審 査

1 月臨時会、3 月定例会において常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

| 件 名                                                  | 陳 情 者                                        | 審査結果    |
|------------------------------------------------------|----------------------------------------------|---------|
| 新たな保育制度改革の導入に反対し、すべての子どもの健やかな育ちを保障するための意見書提出をもとめる陳情書 | 公的保育制度を守り豊かな保育をもとめる鳥取県実行委員会<br>代表世話人 入 江 一 枝 | 趣 旨 採 択 |
| 高齢者の生活実態に見合う年金引き上げを求める意見書の採択を求める陳情                   | 全日本年金者組合<br>鳥取県中部支部長 植 田 勉                   | 趣 旨 採 択 |
| 後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出を求める陳情                         | 全日本年金者組合<br>鳥取県中部支部長 植 田 勉                   | 趣 旨 採 択 |
| 最低保障年金制度の制定を求める意見書の採択を求める陳情                          | 全日本年金者組合<br>鳥取県中部支部長 植 田 勉                   | 趣 旨 採 択 |
| 年金受給者資格を 10 年に短縮することを求める陳情                           | 全日本年金者組合<br>鳥取県中部支部長 植 田 勉                   | 趣 旨 採 択 |
| 「交通基本法」制定に関する陳情書                                     | 西日本旅客鉄道労働組合<br>米子地方本部<br>執行委員長 佐 貴 馨         | 趣 旨 採 択 |
| 2011 年度年金引き下げの撤回を求める陳情書                              | 全日本年金者組合<br>鳥取県中部支部長 植 田 勉                   | 採 択     |
| 町の機関における行政書士法の遵守徹底による窓口業務の適正化に関する陳情書                 | 鳥取県行政書士会<br>会長 有 田 敬                         | 採 択     |

## ◎議員発議で政府に意見書を提出

☆ 2011 年度年金引き下げの撤回を求める意見書

提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣

### 事務局人事

4 月 1 日付の職員人事異動により、議会議務局に次のとおり異動がありました。  
平成 21 年からお世話になっておりました蔵本幸代（主査）が町民課へ、新たに伊藤香織（書記）が配属されました。  
どうぞ、みなさまよろしくお願い申し上げます。

今後もご活躍を期待します。

松本 繁議員（25 年以上在職）  
増井久美議員（21 年以上在職）

鳥取県町村議会議長会表彰

酒井 幸雄議員（27 年以上在職）

全国町村議会議長会表彰

2 月 17 日、鳥取市で自治功労者表彰式が開催され、町議会議員として特に功労があった者として本町議会議員 3 名が次のとおり表彰されました。

## 「福祉と環境保全でまちづくり」

地域と福祉を育てる会 代表 尾西正己さん



当団体は、約4年前、

東郷地区を中心に湯梨浜町の地域福祉と東郷池の環境保全の啓発を目的に、地域の様々な団体が集まり「地域と福祉を育てる会」を結成しました。



東郷湖周の一斉清掃の参加、めぐみの湯公園や足湯の清掃、花壇の手入れ、春と年末に「ゆりはま105感謝祭」を開催しています。

2年前より、「まちづくり創造事業」の助成を受けて、バイオディーゼル燃料（BDF）を使用したマイクrobバスに乗って、東郷池の水質改善についての活動紹介、また障がい者の方が使用済み天ぷら油の回収作業を通して、地域の方とふれあうなど、環境保全活動の啓蒙活動を行っています。

これから、この活動が地域に根ざし、人と人とがふれあい、障がい者・児童・老人などの福祉が、町民皆様の身近なものになることを願います。



東郷湖周の一斉清掃

また、エコ活動の紹介やCO2の削減など、湯梨浜町が福祉の町、環境保全の町として、新たな情報が発信していけるような団体であるように努めていきます。

皆様のご参加お待ちしておりますので、よろしくお願い致します。

## 議会の傍聴をお気軽に

皆さんが選んだ議員が、どんな活動をしているか、また、身近な問題がどのように処理されているか関心がありませんか。議会の日程などは、議会事務局にお問い合わせください。議会及び議会事務局に関するご意見をお聞かせください。

☎ 35-5341

メール ygikai@yurihama.jp

あなたの声をお待ちしています。

## 編集後記

3月11日に発生しました東日本大震災におきまして、被害に遭われました多くの皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々と、ご遺族の皆様へ深くお悔やみ申し上げます。

また、一日も早く地域が復旧・復興されますことを、心よりお祈りいたします。

一個人では大きな支援はできませんが、被災地の方々の気持ちを考えながら、今の私たちにできることを少しずつ行っていくことが、大切だと思いますので、皆様のご協力をお願いします。

現在の広報委員での「議会だより」発行も、今回が最後となりましたが、これからも、読みやすい紙面作りを目指し、今後引き続き継いで行きたいと思っております。これからも皆さんのご意見ご感想をお聞かせください。

(記 河田)

議会広報調査特別委員会

委員長 浜中武仁

副委員長 河田洋一

委員 入江 誠

〃 上野昭二

〃 会見祐子

〃 吉村敏彦